

日印産連表彰受賞者の紹介

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、「9月印刷の月」記念式典において表彰が行われる。本年度は7月23日に開催された表彰選考委員会の審議を経て、同日の顕彰委員会で承認され、7月31日に開かれた第3回理事会にて決定された。

本年度は印刷功労賞12名、印刷振興賞15名、特別賞1団体が表彰を受けた。

日印産連表彰規定(抜粋)

- ◆印刷功労賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。
 - ①印刷産業界にあって団体運営を通じて印刷産業の発展向上に寄与した者
 - ②その他、前項に準ずる者
- ◆印刷振興賞は次の各項のいずれかに該当する者に授与する。
 - ①業務の進歩改善に著しく貢献した者、若しくは特に技術優秀な者又は優れた発明考案をした者
 - ②多年にわたり後進の指導並びに業界指導に貢献した者
 - ③その他、前項に準ずる者
- ◆特別賞は次の各項のいずれかに該当する者(団体を含む)に授与する。
 - ①地域社会の諸活動を通じて地域の振興に貢献し、以て印刷産業界の地位向上に寄与した者
 - ②福祉活動を通じて社会に貢献し、以て印刷産業界の地位向上に寄与した者
 - ③その他、前項に準ずる者

印刷功労賞

川田 和照

TOPPANクロレ株式会社
(旧図書印刷株式会社)
相談役

印刷工業会



受賞理由

入社以来、出版印刷の営業に携わり、営業統括の要職を歴任した後、2015年、自社の社長に就任。その傍ら2021年には印刷工業会 常任理事に就任、また同年には(一社)日本印刷産業連合会の常任理事にも就任し、印刷産業の普及・啓発・地位向上と情報産業としての活動に寄与して、団体活動を通して印刷業界の発展を支えてきた。

里村 憲治

共同印刷株式会社
元取締役常務執行役員

印刷工業会



受賞理由

印刷工業会においては軟包装部会の幹事長を務めるなど、印刷業界における包装事業の振興と発展に寄与した。自社においては入社以来パッケージ部門に従事し、工場長・事業部長・事業本部長といった要職を歴任し、複数の海外子会社の責任者を務めるなど、生活・産業資材セグメントの躍進を支えた。

印刷功労賞

滝澤 光正

滝澤新聞印刷株式会社
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

日印産連副会長、全印工連会長、東京都工組理事長などの要職を歴任。この間、人々の幸せを創り続ける印刷産業を目指す「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～」の実現をスローガンに掲げ、印刷産業の構造改革を積極的に推し進めるためのDXによる生産連携・高効率化を実現するため、具体的な方策を提言するなど業界の発展・振興に尽くした功績は多大である。

浦久保 康裕

株式会社一心社
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

2020年～2024年まで全印工連副会長、大阪府工組理事長などの要職に就く。この間、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)活動」に積極的に取り組み、一般社会に対してMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、情報保障の推進に貢献した。また、日印産連においても常任理事を務めるなど印刷業界の発展に尽くした功績は多大である。

佐久間 信幸

株式会社日進堂印刷所
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

本業の社長就任に伴い、20年ほど前に東北フォーム印刷工業会の理事を先代から引き継ぎ就任、以降「技術委員会」を中心に印刷技術の普及に努め、会長を2期4年務めた際に、会長を各県1期持ち回り就任を決定。その後も理事として会の運営に尽力している。福島県においても印刷工業組合理事長を7期目の任に就いており、福島県の印刷業界を牽引している。

笹岡 誠

有限会社ドゥ・プラン
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2010年から現在まで14年間、理事を務める。その間、各種委員会活動に参加、2010年から6年間電子出版プロジェクト担当理事、2017年よりジャグラコンテスト検討委員会に参加し、DTPオペレーターの技能向上を目的とした技能競技会、技能認定制度の新規立ち上げに尽力。現在まで同コンテストの運営委員長を務めるなど、社団事業に尽力した功績は多大である。2017年印刷振興賞受賞。

富塚 宗寛

富塚製本株式会社
代表取締役

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

多年にわたり、全日本製本工業組合連合会副会長および大阪府製本工業組合 理事長、副理事長、専務理事等の要職を歴任する。2023年9月にはコロナ禍後、4年ぶりのリアル開催となった「全国大会大阪大会」を成功に導いた。

大阪工組理事長就任後は、YouTubeでの組合方針の配信、オンラインセミナー開催などウイズコロナに向け取組み、組合員減少対策としての更なる財政健全化施策へ取組んだ功績は大きい。

有原 常貴

北海シーリング株式会社
代表取締役

全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

当連合会では、技術委員・広報国際委員を重任しながら6年間シールラベルコンテストの普及に努めた。副会長の4年間では、連合会の組織強化のために各種行事(年次大会・勉強会・展示会など)へ積極的に参加されながら、企画調整力を発揮して組織の活性化に尽力されたのでこの賞に値する。

石井 純

株式会社多連堂
代表取締役

全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

2005年6月理事就任、「組合のないところに業界の発展はない」という先輩の意思を受け継いで、組合運営に携わり、組織強化、業界の振興発展に長年にわたり貢献している。また、全国グラビア協同組合連合会の副理事長に就任し、業界の地位向上、適正料金の確保、環境問題への社会的責任への取り組みなど積極的に参画し、具体的事業計画を推進している。地球温暖化の防止、大気汚染防止法によるVOC排出抑制規制への対応、SDGsへの啓蒙の為、勉強会等を計画、開催に尽力した。上部団体が行う環境対策セミナーへの参加を積極的に事業計画に盛り込み、今現在理事として長年組合に貢献している。

石本 忠廣

株式会社イシモト
取締役会長

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

1987年 中国写真製版工業組合(現 中国グラフィックコミュニケーションズ工業組合)の理事に就任。2003年より18年間 専務理事を務め、12年もの長きにわたり会員企業の社員のための勉強会を開催する等GC中国の活動に尽力し、組合員のコミュニケーションを図った。2021年 理事長に就任し、現在GCJ副会長。GC中国 理事に就任して37年。長年の経験を生かし、組合活動に貢献した功績は顕著である。

印刷功労賞

青沼 美鶴

株式会社メイジ
代表取締役社長

全日本スクリーン・デジタル印刷
協同組合連合会



受賞理由

2001年、株式会社メイジ・取締役工場長に就任すると同時に宮城県スクリーン印刷協同組合の活動に参画、組織拡充と業界発展のために東北全域の協同組合設立に奔走し、平成19年東北スクリーン印刷協同組合設立に寄与した。平成29年には全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会の理事に就任、定評あるプラスチック素材への印刷技術をもって全国の後進の育成に寄与している。

堀 知文

丸栄有限会社
代表取締役

全日本光沢化工紙協同組合連合会



受賞理由

2016年に全日本、関東の理事に就任し、2020年会長、理事長の要職を務めた。コロナ感染症拡大においてもオンラインで理事会を開催、全国大会もリアルとオンライン参加で開催するなど、組合活動に大いに尽力した。現在も理事として組合に貢献している。

印刷振興賞

内山 明

(旧) 新生グラビア株式会社
元代表取締役社長

印刷工業会



受賞理由

内山氏は新生グラビアを1978年に設立し、約50年間、印刷紙の供給で建材業界に貢献した。団体活動も1990年設立の印刷工業会建材部会に第一回より33年間参加し、業界活動の活性化に尽力した。

棟方 輝彦

東京都チャレンジドプラストップン
株式会社
常務取締役

印刷工業会



受賞理由

同氏は入社以来労政業務に従事。災害ゼロの製造職場づくりを目指し、労災の体感教育施設「安全道場」を開設。現在、障がい者の雇用促進を目的として設立された東京都チャレンジドプラストップンにおいて、D&Iの視点より印刷業界を牽引している。

西岡 浩

株式会社DNPデータテクノ
常務執行役員

印刷工業会



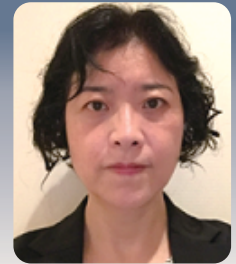
受賞理由

1980年4月、奈良工場入社。入社以来、ビジネスフォーム等の製造に従事し、業界の発展に貢献した。西日本地区(奈良、京都、福岡)におけるセキュア事業の製造責任者として、「人あってこそモノづくり」をモットーに掲げ、後進の育成に尽力した。

滝口 祐美

共同印刷株式会社
IT統括本部長

印刷工業会



受賞理由

印刷工業会においては2020年・2021年と女性活躍推進部の部会長を務め、業界内の横のつながりを広げて情報交換を活発に行い、女性活躍推進に大きく貢献した。自社内においては、情報通信技術に関わる部署の要職を歴任し、当社の情報技術の発展および製品サービス開発に大きな役割を果たした。

大塚 泰文

協同精版印刷株式会社
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

2014年から2024年までの10年間、全印工連理事、岡山県工組理事長および中国地区印刷協議会副会長の要職を務める。この間、中小印刷業界の地位向上、組織強化の推進に尽力するなど、中小印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

山添 順裕

株式会社山添印刷店
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

2018年から2024年まで、全印工連理事、和歌山県工組理事長などの要職を務める。この間、中小印刷業界の主要な発注先である官公庁からの受注(官公需)に関する取引改善を積極的に進めるなど中小印刷業界の振興発展に果たした功績は大きい。

印刷振興賞

大木 啓稔

株式会社泰清紙器製作所
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

2014年から2016年まで、全印工連理事、東京都工組理事、全国青年印刷人協議会議長の要職を務める。この間、経営、環境、組織、教育の各種事業を積極的に推進するなど中小印刷業界の振興発展に果した功績は顕著である。

新保 朝男

株式会社昇寿堂
取締役深川工場長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

関東フォーム印刷工業会の理事として、積極的に活動に参加した。特に、「活性化委員会」メンバーとして活動のリーダーシップをとり、若手会員の育成に取組み、当会の発展向上に大きく貢献した。

中村 盟

NS印刷製本株式会社
代表取締役社長

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2012年から12年間、理事を務める。2012年から4年間ジャグラ青年部代表幹事、2018年から2年間賀状デザインコンテスト部長、2022年よりジャグラコンパクトDX事業推進の中核メンバーとして業態進化委員会委員長に就任するなど、社団事業に尽力した功績は多大である。

齋藤 秀勝

株式会社文化ビジネスサービス
代表取締役社長

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

2014年から10年間、理事を務める。2020年から2022年までマーケティング委員会委員長、2022年よりジャグラコンパクトDX事業推進の中核メンバーとして地域活性化委員会委員長に就任するなど、社団事業に尽力した功績は多大である。

渡邊 博之

株式会社博勝堂
相談役

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

長きにわたって全日本製本工業組合連合会 理事および東京都製本工業組合 副理事長を務めた。東京工組においては、東京製本高等技術専門校の学校長も兼任し、業界の人材育成に尽力した功績は大きく顕著である。

柴田 哲男

シバタセスコ株式会社
代表取締役

全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

当連合会技術委員、経営委員に就任して組織の活性化に尽力した。特に技術委員としては8年間在籍してシールラベルコンテスト・世界ラベルコンテストの確立・普及に努めた功績は大きく受賞に値する。

川嶋 春広

株式会社平野屋物産
取締役総務部長

全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

1998年、株式会社平野屋物産の総務課長就任と同時に九州グラビア協同組合の事務局の職に就き、3代の理事長を補佐し続けている。26年余りの任期中の全ての行事・企画を取り仕切り、九州エリアでの業界発展の礎となっている。

田畠 義之

株式会社セントラルプロフィックス
代表取締役社長

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

製版レスやペーパーレス等、業界の厳しい運営環境下、GCJ副会長・GC東京副理事長等の要職を務め、未来志向における組合運営の再構築に力を発揮し、持続可能な事業展開の具現化に大きく貢献した。

丹羽 史郎

有限会社丹羽グランド
会長

全日本スクリーン・デジタル印刷
協同組合連合会



受賞理由

戦後、岐阜県郡上市に開設されたスクリーン印刷技術の職人育成施設を受講、受講後は講師をサポートして全国から集まった職人を育成し、スクリーン印刷技術の全国普及に多大なる貢献を果たした。

